

## 1 種加盟チームのユニフォームに関する規程

### (目的)

第1条 本規程は、豊川サッカー協会（以下「本協会」という）の1種（社会人・シニア）加盟チーム（以下「チーム」という）のユニフォームに関する事項について定める。

### (ユニフォーム)

第2条 本規程においてユニフォームとは、シャツ、ショーツ及びソックスの3点を総称したものをいう。

### (着用義務)

第3条 本協会主催・運営の試合においては、各チームが保有するユニフォームを着用しなければならない。

### (ユニフォームの色彩)

第4条 ユニフォームの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。

- 2 チームは、公式競技会の試合会場に正・副2組（ホーム用及びアウェイ用）のユニフォームを持参しなければならない。
- 3 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- 4 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

[特例] 豊川サッカー協会に登録する1種（社会人・シニア）加盟チームは、日本サッカー協会には登録しておらず、また、市民リーグという位置づけを考えると日本サッカー協会が定める厳格なユニフォーム規程を遵守するほどではないとし、以下の特例を設ける。

- ① 日本サッカー協会のユニフォーム規程では明確に黒色のユニフォームの使用を禁止しているが、当協会では今まで黒色のユニフォームの使用に関して言及してこなかったことを鑑み、現在において黒色のユニフォームを使用しているチームにおいてはこれを認めることとする。ただし、新たにユニフォームを調達する場合はこの限りではない。
- ② 昨今、ユニフォームメーカーにおいて同一ユニフォームを製造する期間が極端

に短く、また購入したユニフォームが廃盤になるケースも多々見受けられる。よって、後継モデルが現在保有のユニフォームと類似している場合は、これを許可することとする。ただし、後継モデルの補充が何度も続き、チームのユニフォームがバラバラの状態になるようであるなら、ユニフォームを一新することも各チームにおいて検討してもらうこととする。

③ ショーツ及びソックスに関しては、同一の色であれば若干のデザイン等の違いがあってもこれを許可することとする。ただし、あまりにもチーム全体においてバラバラの状態にならないように気を付けてもらうこととする。

④ アンダーウェアおよびアンダーショーツも本来であるならば、ユニフォームと同系色であるべきだが、それぞれのチームにおいてそれらが同色で統一されていけば、これを認めることとする。

(ユニフォームへの表示)

第5条 シャツの前面及び背面には、選手番号を必ず表示しなければならない。選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(表示の禁止)

第6条 ユニフォームには、政治的、宗教的又は個人的なスローガン、メッセージ又はイメージを表示してはならない。

(他地区への参加)

第7条 東三河選手権などの上位協会もしくは他協会への大会参加時においては、当該協会の大会規定に従うものとする。

(その他)

第8条 この規程に定めるもののほか、ユニフォームに関する事項は理事会の決議により定める。

附 則

1 この規程は、2021年4月1日から施行する。

[補足] そもそも論ですが、ユニフォームは味方チーム及び相手チームを判別するために着用するものです。市民リーグの位置づけである豊川リーグはその趣旨からユニフォームに関しては厳格な運用はしてこなかった中において、過去には決して少なくない問題やトラブルが発生したことも事実です。

然るに、2020 年度においては長年の伝達・依頼事項であるアウェイ用のユニフォームを全チームに導入してもらうようにし、各チームの努力によって、長年の課題であった各チーム 2 種類のユニフォームを保有できる状態になりました。

各チームにおいては、そのチームの成り立ちや構成メンバーの年齢、はたまた新規加入頻度などなど、様々な事情があつて豊川リーグに参加しているのは承知しております。

例えば、様々な事情があるからユニフォームがバラバラでも良い、という理屈はありません。もちろん、あのチームは完璧にユニフォームを揃えているから、あなたのチームも完璧に揃えなさい、というのも冒頭の市民リーグという位置づけでは、少なからず無理があるとも理解しております。

このような状況を解決するには、ある一定のルールを定め、お互いにその趣旨を理解し、ルールの運用においては現場にて各チームの理解と許容が必要であると考えます。そして、現場にてその理解と許容が崩れた時に、新たにルールを再設定しなくてはならないと考えます。

上記のことを踏まえ、2021 年度よりユニフォームに関する規程を適用しますが、簡単に言えば今まで通りです。しかしながら、2020 年度までの今まで通りと、2021 年度以降の今まで通りは明らかに違います。その違いを意識してもらい、豊川サッカーリーグを思いっきり楽しんでもらいたいと願います。